

社会科学習指導案

- 1.日 時 平成19年2月9日(金)第2時限
- 2.学年・組 第4学年2組(男子20名、女子15名、計35名)
- 3.単元名 大阪府の土地のようすと人々の暮らし
- 4.単元目標

- (1) 大阪府の広がりの様子や府内における自分たちの市の地理的位置を確認し、大阪府全体の地形や主な産業、土地利用や人々の暮らし、都市や交通網などを地図や資料から調べ、その特色やよさを考えることができるようにする。
- (2) 大阪府内における人々の生活や産業は、国内の他地域や外国とも関わりのあることに気づくようにする。
- (3) いろいろな地図や資料を調べたり、白地図にまとめたりして、地域の特色をとらえる力を育てることができるようにする。

5. 児童・学級の実態

本学級の児童は、3学期を迎え、授業の中で、話し合い活動や助け合いが見られるようになり、個々の学習からクラスみんなで学習に取り組む姿勢が見られるようになってきた。地図帳を用いて、都道府県や国の名称と位置を調べることに関心をもち、積極的に調べ覚えようとしている。

しかし、具体的資料を効果的に活用し、調べたことを工夫して表現する力はまだ不十分である。資料から自分の意見や考えを見つけだすことや、発表することに対して消極的である。具体的資料を効果的に活用し調べ、工夫して表現する力を育てていきたい。また、自分の気づきや考えに自信を持ち、友達と共有することで学習が高まっていくことにも気づかせていきたい。

6. 教材について

本単元では、自分たちがくらしている大阪府について資料を活用したり、白地図にまとめたりして調べることを主な学習内容としている。

本時で取り上げる、中単元「他の町や世界とむすぶ」では、人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわりの様子を追求していく。これらを追求していく中で、本学級の苦手意識のある、具体的資料を効果的に活用し調べ、工夫して表現する力を育てていきたい。そして、この学習で最終的にねらう、他の地域との具体的な結びつきを整理することで、「大阪」という地域を実感的にとらえさせ、自分たちの住む市・府の特色を理解させていきたい。その中で、大阪府に住む一員としての自覚を育てていきたいと考えている。

7. 指導計画(全29時間)

- 第1次 大阪府の自然のようす(7時間)
- 第2次 大阪府の人々の暮らし(10時間)
- 第3次 他の町や世界とむすぶ(12時間)・・・本時2/12

8. 本時の目標

大阪市中心卸売市場に集まる食料品の生産地の資料を効果的に活用し、調べた過程や結果を工夫して表現できるようにする。

9.本時の展開

子どもの活動	指導上の留意点
1. 都道府県の復習。 ・ フラッシュカードによる県庁所在地の確認 2. 前時の復習 私たちの給食が届くまでをもう一度振り返る。 3. 問題を知る。	○都道府県のフラッシュカードを用意する。 日本地図を黒板に貼る。 ○模造紙を黒板に貼る。
大阪市中心卸売市場について調べます。	
4. 市場について知っていることを発表する。 5. 中央卸売市場の様子を写したビデオを見る。 ・ ビデオからわかったことを発表する。	○食料品が送られてくる様子を具体的にとらえられるようにする。 プロジェクターとビデオを活用する。
教科書72ページを読んでいきます。	
6. 教科書から大阪市中心卸売市場の働きを知る。	○全国各地、外国からも食料品が送られてきていることをおさえる。
これらの資料からわかることを各グループで3つ以上探してノートに書きなさい。	
7. 資料から大阪市中心に集まる食料品の主な産地および食品の種類を知る。(グループ学習) ・ 資料からわかることをノートに3つ挙げる。 ・ 発表 8. まとめ 大阪市中心卸売市場には、国内の他地域や外国からも送られている。	○資料の見方を確認する。 ・ 資料のタイトル ・ 出典 ・ 年 ・ 丸の大きさが量を表すこと ・ 丸の色が食品の種類であること ○資料を効果的に活用し、調べた過程や結果を工夫して表現できているか。(評価)